

八丈島 水産だより

5月号

2007



木いちご

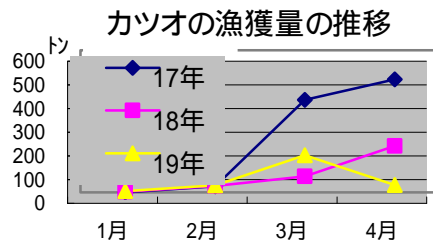
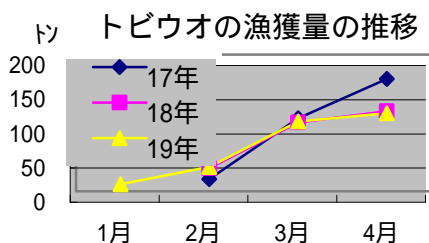


フリージアと大島桜

空気が冷たい真冬のような日もありましたが、満開だったフリージアと大島桜も散り、八丈島の春もようやく終わりを告げます。道ばたには木いちごが実をつけて、やがて暑い夏がやってきます。

4月の漁業は、ヒウオは順調ですが、カツオは今までと比べて水揚げが伸びていません。カツオ漁の漁船の一部は、カツオの群れの様子を見ながら、キンメダイとの水揚げが多そうな方を選んで操業しています。

右表は、過去3年間のヒウオとカツオの漁獲量を比べたグラフです。但し19年4月分(黄色)は、4月27日現在のものです。



トビウオ

今年のカツオはなぜ釣れないの？

今年は、まとまったカツオの群れが確認できないため、漁師さんは、カツオの群れをさがすのに苦労しています。また、カツオの群れが見えるけれど、ほかに餌があるのか、カツオはいつものようにバケに食いついてくれなくなりました。



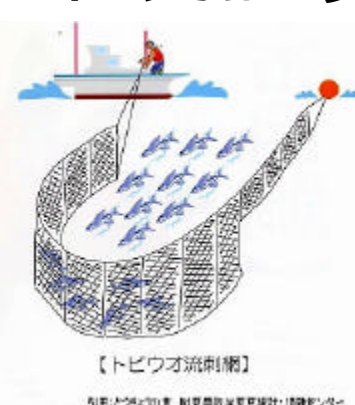
カツオ



バケ(疑似餌)

カツオは上の写真のようなバケ(イカ? 魚?に見せかけた疑似餌)で釣ります。

ヒウオはどうやって獲るの？



【トビウオ流刺網】

引船とつばきの実 創設農林水産省設計・建設センター

八丈島では、ヒウオを主に流刺網という漁法で獲っています。魚の通り道に長い網を置いて、網の目に魚が刺さったところを引き上げます。



そして船上で、漁師さんが、網から一尾、一尾、ヒウオを丁寧に抜き取ります。帰港して水揚げが終わったあと、網の目にほつれないかをよく見て手入れをしながら、翌日の漁に備えます。